

千葉県立幕張海浜公園 マーケット型サウンディング調査の結果概要について



本調査は、地元市である千葉市が、幕張海浜公園の活用可能性について民間事業者と対話を行い、国内外から訪れる観光客の呼び込みや日常的な公園利用の促進、幕張新都心の賑わい創出・回遊性向上など、より魅力的なまちづくりを推進することを目的としています。

今回、調査に参加者いただいた皆様より、以下の提案・意見をいただきましたので概要を公表します。

1 調査の対象及び提案内容

対象区域 A～Cブロック（約 19.4ha） ※公園全体は 68.4ha
募集内容 民間ノウハウを活かした賑わい施設の整備・公園改修、公園運営、イベントなどに関する提案

2. 調査の経過

募集期間 平成 30 年 7 月 26 日～平成 30 年 9 月 20 日
事前説明会 合計 3 回（平成 30 年 8 月 1 日／9 日／21 日）
調査期間 平成 30 年 9 月 26 日～平成 30 年 10 月 16 日
（内容確認などの追加対話を除く）

参加状況 事前説明会 27 団体 / 対話申込み 12 団体

3. 提案の種類について

- ・特定ブロックでの事業展開を希望するものや A～Cブロック全体の維持管理と施設整備を一体で実施する提案、イベントの開催、ソフト面での運用改善提案などがありました。
- ・費用負担については、事業費用を全て民設事業者で賄う提案（民設民営）、行政負担を前提とする新たな公園サービスに関する提案（民設民営＋一部公共施設）がありました。

4. 主な提案施設（ソフト事業含む）

種別	内容
飲食施設	レストラン、バーベキュー、カフェ、ミニ売店、物販店
運動施設	大規模プール、屋内遊技場
その他施設	ドッグラン、保育施設、教養施設
ソフト事業	バザール、マルシェ、プレーパーク、遊び教室

5. 主な意見及び提案

＜事業方式＞

- ・事業効果を最大限発揮させるため、公園の維持管理と施設整備を一体で実施できる形での事業公募が望ましい。事業期間は20年間を希望(経済情勢の変化もあるため、10年間程度を希望という意見も一部あり)。
- ・施設の段階整備が認められれば、利用ニーズを見ながらの柔軟な対応が可能となる。

＜公募期間＞

- ・公募期間は3か月以上は必要。できれば4・5か月程度あると良い。
整備内容や運営管理体制の検討、事業計画の意思決定などには相応の時間を要する。

＜賑わいづくり＞

- ・施設単体では、そのみの利用になりがち。施設がある＝公園の賑わいではない。
- ・幕張新都心は、商業的に飽和状態。園内に整備する業態や店舗数は精査が必要。
- ・公園の中心はBブロック。機能拡充することで、利便性の向上が期待できる。
- ・Bブロックの噴水エリアは、住宅と離れているため、音の出るイベントなどに利用しやすい。電源と水栓があると、なおよい。
- ・夜間の店舗営業やイベント開催により、さらなる活性化が期待できる。

＜インバウンド＞

- ・外国人の呼び込みには、多言語による対応が有効ではないか。
- ・日本庭園（見浜園）を本格的に管理することで、日本文化の発信に繋げたい。
- ・見浜園を再整備し、より本格的な日本庭園を目指したい。

＜その他＞

- ・新たに民間施設を設置することで、そこから生まれる収益を公園の再整備費に還元する考え方はあるが、還元できる額はそれほど多くはない。再整備費用の大部分は行政が賄う必要がある。
- ・インフラの改善費用は行政負担でお願いしたい。

6. 今後の流れ

今回の調査結果を踏まえ、幕張海浜公園のさらなる活用に向けた新たな施設の整備や維持管理手法について、本市にて具体的に検討し、事業公募に向けた準備を進めます。